

Topics 福島

2018.10.31 No.85



WBC 検査実習に臨む長岡技大生の皆さん

原子力の人材育成活動を展開

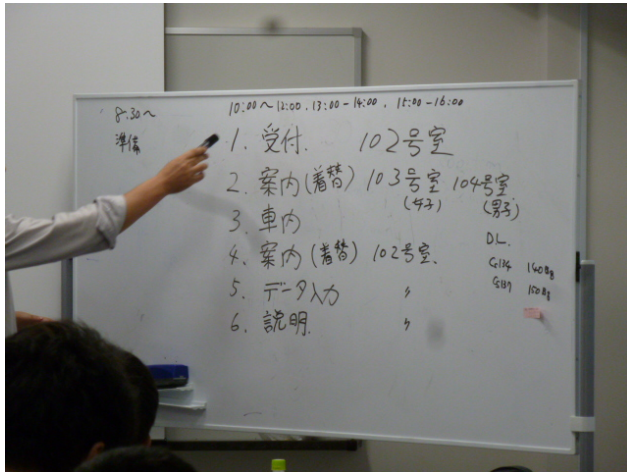
長岡技術科学大学での WBC 測定実習と市民講座などを実施

新潟県長岡市にある長岡技術科学大学(以下、「長岡技大」)で開催された第38回技大祭(2018年9月15日～16日の2日間)において、在学生に対するWBC(ホールボディカウンター:体内の放射性物質の量を評価する装置)を活用した内部被ばく検査の実習と、技大祭に来訪された方々に対する放射線の基礎知識や「ふくしま」の現状を理解して頂くことを目的とした講演やブース出展等を行いました。

これらは、東京電力 HD(株)福島第一原子力発電所事故後に締結された長岡技大との包括的連携協定に基づく原子力の人材育成活動の一環としても位置付けられており、今年で4回目となります。

■ WBC 実習の前にどのような講習を行ったか

技大祭の前日(9月14日)に、原子力システム安全工学専攻課程の学生10名を対象に「福島の実状と放射線の身体への影響」と題した講義を行い、放射線による人体へ



WBC 検査の実施に伴う一連の対応を習得してもらいました(左図)。特に、WBC を用いた模擬実習には、留学生の方も参加されており、説明資料に英訳を記載する等、これまで以上に綿密な対応を図りました。

■ 学生による内部被ばく検査の実習状況

WBC 検査では両日に亘り、検査希望者が次々と来られ、実習を行った学生も対応に追われていました(下図)。最初は一般の方々への対応が慣れていない部分もあり



の影響に関する基礎知識の解説を行うとともに、実際の測定実習に先立つ、内部被ばくの評価方法についても講義しました。さらに、WBC を用いた内部被ばく検査の模擬実習では、検査を受けに来られた一般の方々に対し、長岡技大生が自ら受付から WBC が搭載された車輻への案内、WBC での測定・評価、その結果の説明まで総括的に行うことで、

ましたが、対応を重ねるうちに「天然核種であるカリウム 40 が体内に存在している。」など身近に放射線が存在していることについて自信を持って丁寧に説明している姿が見受けられ、実習の成果の一部が垣間見られてきました。また、受付開始前から検査を待つ方も増えたことから、待ち時間に霧箱などの展示を行っているブースで、放射線についての基礎知識を深めて頂くこと

もに、当機構の福島県内における研究開発の取組状況について説明を行いました。

技大祭での WBC 検査は、毎年検査を受けに来られるという方も含めて 2 日間で約 110 名の方々が受診され、内部被ばく検査への興味や関心を持つ方々の多いことに驚かされました。WBC 検査を受けられた方々からは、「体の中にも自然の放射性物質があることが実感できた。」等、今回の催しが意義のあるものであったと実感できる意見を多数頂きました。

一方、実習を行った学生からは「一般の方に分かり易い説明をすることの難しさを体験できた。」という意見や、「自然を含めて放射線がどのように人体へ影響を及ぼすか



などをよく理解できた。」という感想が聞かれ、意義のある実習となりました。

両日にかけて「放射線の身体への影響について～現在のふくしまの状況を踏まえて」と題した市民講座を開催し、2回とも15名程度の方々が聴講され、「これまでよく分からなかった放射線の影響が良く理解でできた。」、「放射線に関する正しい知識や情報を広めるべきでは。」といった感想を述べていました(左図)。

展示ブースにおいては、特に、霧箱で観察できる放射線の飛跡に興味を持たれる方が多く、「自分で作ってみたい。」と言われる方もおられました。また、福島県内の放射線状況に関する展示物に関心を示される方が多くおられました(右図)。



■ 今回の活動を終えて

今回の活動により、福島県以外の地域でも、実習や展示、講演などを通じて福島における機構の活動や福島県の現状を発信していくことが重要であると再認識しました。

今後とも、学生によるWBC検査の実習などを通じて福島の復興に必要な若い人材の確保にも貢献する活動を継続していきます。

(参考) 今回の活動は、長岡技大としては、システム安全と地域連携新潟モデルに基づく原子力規制人材育成(原子力規制人材育成事業)としての取組みであり、HP(<http://sdfns.nagaokaut.ac.jp/sdfns/nuclearregulatory/>)に記事が掲載されています。

Topics 福島 No.85

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 福島事業管理部

〒970-8026 福島県いわき市平字大町7-1 平セントラルビル8階

TEL : 0246-35-7650 FAX : 0246-24-4031 HP : <https://fukushima.jaea.go.jp/>